

2026年度 在日本朝鮮人教育会 朝鮮人奨学生募集案内

日本全国の大学・専門学校で学ぶ在日朝鮮人学生に適用／返済義務の無い完全給付制

在日本朝鮮人教育会は 1957 年から奨学制度を設け、日本の各大学・専門学校で学ぶ在日朝鮮人学生（※）に奨学金を毎年支給してきました。本教育会の奨学制度は、在日朝鮮人学生に対して専門科目や学年を問わず適用され、返済義務のない完全給付制であります。本教育会は、2026 年の奨学生新規募集を、次の要項に従って実施します。多くの在日朝鮮人学生からの応募を、お待ちしております。

<奨学制度の目的>

本教育会奨学制度の目的は、今年度新入生をはじめとした数多くの在日朝鮮人学生たちの財政的な負担を少しでも減らすための一助となることにより、奨学生の学問研究や課外活動をはじめとした学生生活をより有意義なものにすると同時に、各種指定行事への参加等を通して、日本で学びながらも民族の主体を確立し、祖国と同胞社会の発展に貢献する人材として輩出することにあります。

※ 本会では、日本の各大学・専門学校に在学し、朝鮮半島にルーツを持つ学生を在日朝鮮人学生として定義しています。父母もしくは祖父母のうち一人でも朝鮮半島にルーツがあれば該当し、国籍も朝鮮籍、韓国籍のみならず、日本籍、その他国籍の学生も該当しますので、国籍の如何を問いません。（但し、本国からの留学生は除きます。）

-2026年度奨学生募集要項-

■資格 1. 日本全国各大学（短期大学も含む）の学部、または専門学校に在籍する在日朝鮮人学生で、上記の<奨学制度の目的>に賛同する 30 歳未満の者。（国籍不問）

2. 成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者。

3. 本教育会の指定行事に積極的に参加する意思のある者。

※ 大学院生、本国からの留学生の募集は行わない。

※ 日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給は不可。但し応募は可能。

■申請期間 **2026年4月1日（水）～5月31日（日）**

（郵送の場合 5月31日（日）当日消印有効、ネット申請の場合 5月31日（日）23:59 まで全ての書類を提出すること。申請期間を過ぎてからの申請は受付しない。）

■申請方法 ○郵送申請の場合

1. 申請書（本教育会 HP よりダウンロード。同じものを 2 通準備する。）

2. 身上書（本教育会 HP よりダウンロード。1 通準備する。）

3. 申請者の写真（正面上半身、3ヶ月以内に撮影したもの（3cm×4cm）2枚を1の申請書2通に貼る。）

4. 在学証明書（1 通準備する。）

5. 学業成績証明書（1 通準備する。）

6. 返信用封筒 2 枚（封筒それぞれに申請者の郵便番号、現住所、姓名を表書きし、84 円分の切手を貼付する。）

1～6 の書類一式を在日本朝鮮人教育会中央常任理事会（奨学部）に期間内に提出する。

○ネット申請の場合

1. 本教育会 HP の申請フォームに必要事項を記入する。

2. フォーム記入後届いたメールに従い申請者の写真（正面上半身、3ヶ月以内に撮影したもの）、在学証明書、学業成績証明書の画像データを期間内に提出する。

※ フォーム記入から一日経ってもメールが届かない場合、本教育会に連絡すること。

■申請上の注意

- ・上記に定めた書類などの不備・欠落は書類審査段階で不採用とする。申請前に募集要項を必ず確認すること。
- ・書類審査を通過した者のみ、収入・所得を証明する書類を面接時に提出する。詳細は、面接通知書に記載する。
- ・新入生は出身校の最終学年の学業成績証明書を提出する。

■選考と結果

- ・書類審査と面接審査を行う。書類選考の結果および面接審査の日程は、返信用封筒もしくはメールにて別途通知する。
 - ・面接審査を6月中に行い、結果を7月31日(金)までに返信用封筒もしくはメールにて通知する。
- ※ 面接は各都道府県別に行う。
※ 選考結果についての問い合わせには応じない。
※ 提出した書類は返却しない。

■2026年度奨学金額

- ・大学(短期大学含む)2年生以上 年額200,000円
- ・大学(短期大学含む)1年生/専門学校生 年額160,000円

■給付方法

年三回(8月、12月、3月)の給付式にて直接伝達する。
採用された学生は給付式に出席のうえ、奨学金を受給する。

8月の給付式は指定行事内で行い、指定行事・給付式に出席出来ない場合はいかなる理由(学業を除く)であれ給付を中止する。

■その他

給付期間は2026年4月～2027年3月の1年間とし、毎年再審査を行う。採用された学生は、本教育会指定の諸行事に原則参加しなければならない。その他奨学金についての詳細は、下記問い合わせ先まで問い合わせること。

※ 応募書類によって得た個人情報、選考及び本人との連絡以外の目的には使用しない。ただし奨学金の重複受給を確認する目的に限り、他の奨学金団体に姓名・生年月日などを開示することがある。

< 指定行事 >

在日コリアン学生キャンプ「マダン」
日時：2026年8月10日(月)～12日(水)
場所：兵庫県 ハチ高原
参加費：24,000円程度(交通費含む)
本奨学金採用者には奨学金と別に参加費補助を支給する。
イベント詳細は各行事実行委員会まで。



在日本朝鮮人教育会中央常任理事会(奨学部)
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-14-15

<お問い合わせ 平日10時～17時>
03-6272-6607

※事務所不在の場合がございますので、その際は後日かけ直してください。

<http://kyoikukai.net/syogakukin.html>



2026年度 在日朝鮮人学生

奨学生 募集

返済
不要

下記①～③を全て満たす者

①日本全国の大学(短期大学含む)の学部、
または専門学校に在籍する30歳未満の

在日朝鮮人学生 (国籍不問)

- ②成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者
③本教育会の指定行事に積極的に参加する意思のある者
※大学院生、本国からの留学生を除く
※他の給付制の奨学金との併給は不可、但し応募は可能

資格

支給金額

大学2年生以上

年額 20万円
年額 16万円

1年生/専門学校生

返済
不要

申請期間

2026年 4月1日(水)～5月31日(日)

- ・ネット申し込みが可能になりました。詳しくは裏面また本教育会ホームページまで。



- ・本奨学金は、8月10日から12日に行われる指定行事「在日コリアン学生キャンプマダン」への参加が受給条件となっています。



お問い合わせ

在日本朝鮮人教育会 中央常任理事会 奨学部

〒102-0071
東京都千代田区富士見 2-14-15

電話 : 03-6272-6607 HP : <http://kyoikukai.net/syogakukin.html>

本奨学制度の目的

本教育会奨学制度の目的は、今年度新入生をはじめとした数多くの在日朝鮮人学生たちの財政的な負担を少しでも減らすための一助となることにより、奨学生の学問研究や課外活動をはじめとした学生生活をより有意義なものにすると同時に、各種指定行事への参加等を通して、日本で学びながらも民族の主体を確立し、祖国と同胞社会の発展に貢献する人材として輩出することにあります。

※本会では、日本の各大学・専門学校に在学し、朝鮮半島にルーツを持つ学生を在日朝鮮人学生として定義しています。父母もしくは祖父母のうち一人でも朝鮮半島にルーツがあれば該当し、国籍も朝鮮籍、韓国籍のみならず、日本籍、その他国籍の学生も該当しますので、国籍の如何を問いません。

ネット申し込みが可能になりました！

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">郵送申請</p>	<p>申請書：HPよりダウンロードし記入(2部)</p> <p>身上書：HPよりダウンロードし記入(1部)</p> <p>写真：3×4cmのものを2枚用意</p> <p>在学証明書、成績証明書：1枚ずつ用意</p> <p>返信用封筒：切手を貼り2枚用意</p>	<p>全ての提出書類を揃え、期間中に郵送(5月31日(日)当日消印有効)</p> 
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ネット申請</p>	<p>申請書、身上書：フォームに記入</p> <p>写真：画像データを提出</p> <p>在学証明書、成績証明書：画像データを提出</p> <p>返信用封筒：必要ありません</p>	<p>申請フォームに各項目を記入した後、送られてくるメールに従って残りの画像データを5月31日(日)23:59までに提出</p>

書類選考の結果及び面接審査の詳細を6月上旬に郵送またはメールにて通知します。面接時には収入・所得を照明する書類をご持参ください。最終的な可否は7月末までに郵送またはメールにて通知します。



< 指定行事 >

在日コリアン学生キャンプ「マダン」
 日時：2026年8月10日(月)～12日(水)
 場所：兵庫県 八チ高原
 本奨学金採用者には奨学金と別に、
 参加費補助を支給します。

本教育会は全国の大学・専門学校の朝鮮文化研究会や在日コリアンサークルといった在日朝鮮人学生のための活動を応援しています。この指定行事もそのような想いから本教育会が後援しています。

現役奨学生の声



国籍の関係である奨学金をもらえず落ち込んでいた時にこの奨学金と出会いました。自分のルーツに自信を持つ事が出来ました。

卒業した奨学生の声



この奨学金をきっかけに指定行事に参加しました。社会人になった今でもそこで出会った在日朝鮮人学生は大切な友人です。